

平成27年度 学校教育計画の評価

| 項目 | 6 実施項目に対する評価 | 7 次年度の課題 | 次年度の方策 |
|-----------------------|--|---|---|
| (1)校務運営 | <p>①各部・教科・学年間の情報の共有化。 職員会議や校務運営委員会などの協議をもとに、各種情報の共有化と共通理解が図られた。</p> <p>②教職員の意欲的な参画意識の醸成。 常に報告、連絡、相談の姿勢を忘れず、分掌間の調整と協力体制を保ちながら教育活動が行われた。</p> | <p>①目指す生徒像を明確にし、本校が抱える課題や問題点を解明にする。</p> <p>②分掌間の効果的な連携のあり方を目指す。</p> | <p>①本校の目指すべき方向性について共通理解を図り、重点項目を策定する。</p> <p>②わかりやすい構造図を示しながら、教育活動への意欲的な取り組みを推進する。</p> |
| (2)教育課程 | <p>①教育課程の編成 ・年間6回の教育課程委員会を実施し、教育課程の編成や運用を協議した。 ・新学習指導要領の完全実施を受け、各学年の問題点や見直すべき点を検討するとともに、新教育課程に関する情報確認を行った。</p> <p>②科目選択のしおり(シラバス)の作成 ・1年次生の分野科目選択説明会(保護者・生徒)を実施した。出席保護者数約85名。</p> | <p>・新学習指導要領の実施を通して、新教育課程の内容の確認と検討を行う。 ・自由選択科目の設置や学校設定科目の内容等について検討する。 ・分野と科目選択が円滑に行われるように、「産業社会と人間」、分野科目説明会、面接等の充実を図る。</p> | <p>・教育課程委員会を中心に各分野の目標に合った教育課程であることを各分野がお互いに確認し合う。 ・進路実現に向け、適切な分野科目選択ができるよう、学年、担任だけでなく、各教科、分野との積極的な連携を図る。</p> |
| (3)教科指導 重点1 | <p>①指導内容の充実と指導方法の改善について<詳細はアクションプラン参照></p> <p>②基礎学力の定着について ・日頃の学習時間が大変不足している。 ・「科目選択のしおり<シラバス>」を作成して、学習方法や指導計画を示し、身につけるべき能力を明確化したが、理解不十分な生徒がいる。</p> | <p>・指導内容の充実と指導方法の改善について<詳細はアクションプラン参照></p> <p>・どのようにして家庭学習習慣を定着させるか。 ・シラバスの見直しと効果的な活用方法。</p> | <p>・授業検討会のさらなる充実を図る。 ・新学習指導要領の実施にあわせ、シラバスの内容をより分かりやすいものにする。 ・課題の提出率を高めるようにする。</p> |
| (4)生徒指導 重点2 | <p>①遅刻指導について<詳細はアクションプラン参照></p> <p>・遅刻を繰り返す生徒には、段階に応じて特別指導を実施した。遅刻総数は前年度に比べ減少を続けているが、将来の進路と結びつけた指導を保護者とともに行い、改善された生徒も見られた。</p> <p>②スマートフォンの指導について<詳細はアクションプラン参照></p> <p>・本校生徒の実態に即した講話や情報を提供し、ネット使用のルールやマナーについて考える機会を設定した。 ・スマートフォンの使用違反に対して、統一的な指導を行った。 以上の指導により、生徒の意識や態度も向上しつつあり、継続的な取り組みが必要である。</p> | <p>①遅刻指導について<詳細はアクションプラン参照></p> <p>・保護者と連携し継続した指導が必要。また個別指導と全体指導を絡めて、全校が一丸となって取り組む姿勢を育てる。</p> <p>②スマートフォンの指導について<詳細はアクションプラン参照></p> <p>・保護者と協力し、ネット使用に関する家庭内でのルール作りに取り組む。</p> | <p>・生徒会と連携し、遅刻防止月間や服装、マナーの改善を働きかける運動を企画し、全校的な取り組みとする。</p> <p>・ルールやマナーの遵守や改善、落ち着いて学習に取り組める環境を整える。 ・改善されない生徒について、効果的に個別指導を実施する。</p> |
| (5)特別活動 重点4 | <p>①学校行事の充実と積極的な参加について<詳細はアクションプラン参照></p> <p>・地元の商工会や役場と連携して、町のイベントに参加し、日頃の活動内容を発信した。</p> <p>②部活動を通じた学校生活の充実について<詳細はアクションプラン参照></p> <p>・北信越大会等の上位大会への出場者が増えて、学校が盛り上がった。</p> | <p>①生徒会活動の取り組みについて<詳細はアクションプラン参照></p> <p>②部活動を通じた学校生活の充実について<詳細はアクションプラン参照></p> | <p>・執行部、ボランティア、各部活動の動きを活性化させ、学校内外に情報発信していく。</p> <p>・指導者研修や講習会などへの積極的な参加を促し、指導知識の充実を図る。</p> |

| 項目 | 実施項目に対する評価 | 次年度の課題 | 次年度の方策 |
|-----------------------|--|---|---|
| (6)進路指導 重点3 | <p>①進路ガイダンスや進路体験講座の企画・実施について<詳細はアクションプラン参照></p> <p>②進学・就職に対応した資格や学力の獲得 学年・教科が中心となり、放課後や長期休業中に希望者補習を実施した。また、週末や連休等に課題を与えて基礎学力の定着を図った。</p> <p>③希望者を対象とする学習会などの企画・実施 3年生の大学進学希望者を中心に、5月の連休中に「集中学習会」を実施した。</p> | <p>①進路ガイダンスや進路体験講座の企画・実施について<詳細はアクションプラン参照></p> <p>②課題内容の程度や分量を検討する。また、継続的に学習させる中で、資格取得の充実に努める。</p> <p>③実施時期や参加対象者への募り方を見直す。</p> | <p>①進路ガイダンスや進路体験講座の企画・実施について<詳細はアクションプラン参照></p> <p>②教員が連携して生徒個々の実態を把握し、進路目標を早期に明確にさせ、その実現に向けて学習する雰囲気高める。</p> <p>③各種行事や部活動の大会日程等を把握し、調整する。</p> |
| (7)保健美化 | <p>①定期健康診断・各種検診を円滑に立案・実施した。また、生徒個々の既往症の対応も、職員の共通理解を図りながら対応することができた。</p> <p>②保健通信の発行、生徒個々に応じた対応ができた。また、生徒主体の保健委員会活動を実施できた。</p> <p>③校舎内外の環境美化のために、特別清掃や美化週間を計画通り実施できた。</p> | <p>①定期健康診断後の受診率・治癒率を高める。</p> <p>②集団指導と個別指導の指導方法を工夫する。</p> <p>③全校生徒が、環境美化意識を高めるような方策を検討する。</p> | <p>①受診が必要な生徒への指導の徹底と、救急対応の職員研修を適時実施する。</p> <p>②保健活動をより推進し、生徒への指導効果を促進する。</p> <p>③美化活動をより推進し、全校生徒が美化意識を持つよう指導する。</p> |
| (8)図書指導 | <p>①「朝の読書」は、学年の理解や担任の指導により、読書をするという、良い雰囲気が整ってきている。</p> <p>②図書館オリエンテーションや種々の読書指導により、図書館の利用者数と本の貸し出し冊数はともに増加した。</p> <p>③行事への取り組みを通して、自主的に取り組む委員が増えてきた。全員参加で文化活動発表会の企画と、「三杉No.56」の発行をした。</p> | <p>①「朝の読書」に対する共通理解をより一層高めるとともに、クラス文庫のあり方などについても検討する。</p> <p>②全体への利用指導をするとともに、個人への指導も一層充実させる。</p> <p>③委員会活動の目標や目的、活動内容を明確にし、自主的な活動を促す。</p> | <p>①新着本情報などの広報活動を充実させることにより、読書活動の活性化を図る。</p> <p>②開かれた図書館を目指して、個々の関心に応じた読書指導の充実を図る。</p> <p>③委員会の生徒の自発的な活動の充実を目指し、適切な指導を行う。</p> |
| (9)情報 | <p>①グループウェアの有効活用を行った。(本年度は施設予約・ファイル管理・IP管理機能を追加)学校全体としては安定したネットワーク管理を図り、トラブルの発生はなかった。情報の管理や執務用PCの利用に関する規定を遵守するよう周知し、情報の流出等の問題は生じなかった。</p> <p>②HPの有効活用を行った。各分掌・委員会・教科・学年から各種データ提供を得て、本校の現況の迅速な情報発信ができた。</p> | <p>①効果的なセキュリティ対策と適切なネットワーク管理により情報漏洩等やネットワーク障害のトラブルを防ぐ。</p> <p>②HPのCMSサイト化に伴い、迅速なHPの更新を心がける。より魅力的で効果的な情報発信の方法を研究する。</p> | <p>①フィルタリングやウイルスプロテクトにより、トラブルの未然防止に努め、障害時には迅速な対応に努める。生徒、教職員のPC・ネットワーク利用者の規範意識を高める。</p> <p>②HPの迅速な更新のために校内各所との連携を深める。HPの効果的運用方法を引き続き検討する。</p> |
| (10)教育相談 | <p>①普段から生徒の動向に注意し、養護教諭・教育相談係と学年・学級担任等との連携をとることができた。また、臨床心理士と保健厚生部と連携を図ることができた。</p> <p>②相談室だよりを通して、生徒が問題解決能力を高められるように工夫した。</p> | <p>①悩みを持つ生徒に対して、関係職員と連携を図り、より早期対応できるようにする。</p> <p>②生徒にわかりやすい相談室だよりの作成。</p> | <p>①生徒個々に合った指導方法を、保護者と学校関係者間で連携して立案・実行する。</p> <p>②臨床心理士と連携を密にして解決の手だてを模索。</p> |

| 項目 | 実施項目に対する評価 | 次年度の課題 | 次年度の方策 |
|-------------|--|---|---|
| 1 学年 | <p>①基本的な生活習慣を身につけさせるために、服装や頭髪、挨拶など1つ1つ手を掛けながら指導した。また、授業開始時には早めに教室へ向かい、時間に対するけじめへの意識を持たせるようにした。</p> <p>②分野選択だけでなく、日頃の生活指導での場面でも個人面談を大切にすることで、個々の抱える問題点を共に考えながらも、生徒自身がその直面する問題を主体的に解決できるための指導を進めることができた。また、日頃より家庭との関係を図り、実態把握を踏まえた生徒一人一人に応じた学習方法や内容の改善を指導することができた。</p> | <p>①学年の後半では、服装や言動で心配な生徒も見られるようになった。生徒の内面を見つめ、根気強く指導を続ける必要がある。</p> <p>②具体的な進路について考えさせ、基礎学力の定着に向けて効果的な学習方法を指導する必要がある。</p> <p>③総合学科ならではの高校3年間を見通した進路指導計画をもとに、学年ごとに達成すべき目標をおさえた一貫性のある指導を進める必要がある。</p> | <p>①様々な面での生徒の成長を促すために、保護者との連携をきめ細かくとる。</p> <p>②将来像を考えさせる場を積極的に提供する。また、進路に応じて効果的な学習方法を具体的に助言し、家庭学習の定着を支援する。</p> <p>③学年だけでなく、教科、進路指導部、特別活動部、生徒指導部などと連携し学校全体で、生徒との関わりが深まる機会を増やす。</p> |
| 2 学年 | <p>①進路研修を通じて、進学や就職への意識を明確にさせる。そのために、県外進路研修やインターンシップ、進路ガイダンスさらには卒業生に聴く会など様々な取り組みを実施してきた。その中で少しずつではあるが、進路意識が高まってきている。</p> <p>②集団の中での個の役割について、普段から自分を認識するように指導してきた。時間の厳守や責任ある言動など、今後も継続して指導していく。</p> <p>③基本的な学習能力向上のため、週末課題や朝読書、作文・小論ガイダンスの指導を行ったが、まだ生徒全員が必要だという意識が浸透していない。</p> | <p>①進路指導については、進路指導部との連携が必要不可欠である。年間の予定を立てる際に、進路指導部と学年が一体になることが必須である。</p> <p>②教師からの投げかけだけでなく外部講師など、もっとたくさんの人との交流を持たせ、TPOが意識できるようにさせる。</p> <p>③HRや総合的な学習の時間に、基礎学力向上のための授業を組むとよい。</p> | <p>①進路を決めていくには学年のみならず、学校全体で面談できる体制をとるべきである。</p> <p>②生徒は言葉だけで理解できないので、もっと多くの体験学習が必要である。その中から、身につけ気づくことをさせる。</p> <p>③短時間でクラスや授業でも出来る復習内容を考え実行することで、理解を促し学習意欲の高揚を図る。</p> |
| 3 学年 | <p>①進路目標の実現へ向けて継続した学習を着実に進めるようになった生徒が多かったが、全体的な学習意識の向上には至らなかった。</p> <p>②遅刻・欠席が多い生徒には保護者とも連絡をとりながら、繰り返し指導を行ったがあまり改善が見られない生徒も一部いた。</p> <p>③体育大会、部活動などでリーダー的立場を経験し、相互理解や問題解決への過程から、社会性を広く身に付ける事ができた生徒が多数見られた。</p> | / | / |
| (12) 地域との連携 | <p>① 「高校生さわやか運動」は、上市駅頭に於いて、夏・秋で保護者約30名の参加があった。</p> <p>② 「PTA保健講座」では、PTA会員と教職員、生徒が協力して活動しあえる場として定着してきた。</p> | <p>① PTA行事等に参加しやすい環境作りを目指す。</p> <p>② PTA行事について、会員のニーズに合った活動を目指していく。</p> | <p>① 生徒指導部と連携し、身近な問題を取り上げてアンケートを実施する。</p> <p>② PTA役員からの働きかけや、広報活動を地道に積み上げていく。</p> |